

SAPIX	5年							
	算数							
学習内容	32回 倍数算 33回 相当算 34回 立体図形（3） 冬期講習01回 数に関する問題 冬期講習02回 平面図形							
家庭学習ポイント	12月は第32回「倍数算」、第33回「相当算」、第34回「立体図形（3）」を学習します。「倍数算」「相当算」はいくつかの解き方、考え方がありますが、「①解法」と呼ばれる考え方をマスターしないと、思わぬところでつまづくことになります。①解法とは、基準となる数量を「①」とおいて考える解法ですが、全体を①とおくとはとは限りません。むしろ問題において扱う最小単位を①とおき、他の数値がその何倍になっているかによって考えていきます。比の考え方に沿った解法であるとも言えますね。線分図の書き方もしっかりマスターしましょう。立体図形では投影図の問題は定番問題です。イメージするのが苦手なお子さんは、練習が必要です。身近な立体（コップや段ボール箱などを正面、真上から見たらどのように見えるか試してみましょう。また、回転体の問題も含め、自分で見取り図を書く練習をしておくことも大切です。冬期講習では「数の性質」「平面図形」「比と割合」「速さに関する問題」と、5年生で学習する重要分野で構成されています。多くはこれまでの復習ですが、共通するポイントは「手を動かして解くこと」です。簡単な問題でも、図などを端折らず書くことを実行していきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	倍数算・相当算では「①解法」を使いこなせていますか？						チェック
	解決策	「2倍になった」なら「①→②」、「4：3です」なら「④と③」といった具合です						□
	チェック2	線分図を書くときのポイントがつかめていますか？						チェック
	解決策	「左端を揃えて書く」「同じ量は上下揃えて書く」など基本をもう一度確認しておきましょう						□
	チェック3	様々な文章題について「このタイプならこんな図が使いそう」が出てくるようになってきましたか？						チェック
	解決策	納得しながら学ぶことで、問題ごとの対応法が出てくるようになってきます						□
	チェック4	立体の見取り図が「それらしく」かけていますか？						チェック
	解決策	体積や表面積もそうですが、移動や切断の問題ではこの技術が必須になります。						□
	チェック5	基礎トレの学習をコツコツ続けていますか？						チェック
	解決策	組分けテストなど実力テストで点を取るために続けましょう						□
SAPIX	5年							
	国語							
学習内容	32回 コトノハ／大晦日の階段 物語文 33回 コトノハ／夢を目標に 随筆文 34回 コトノハ／女は女らしく、男は男らしく？物語文 冬期講習01回 物語文 冬期講習02回 随筆文							
家庭学習ポイント	A授業では「大晦日の階段」「夢を目標に」「女は女らしく、男は男らしく？」と題して品詞の識別といった文法に関わる項目などが扱われます。知識事項については最低限、日々の漢字の学習とAテキストの知識分野の復習をおろそかにしないことが大切です。B授業では物語文2回、随筆文1回と続きます。冬期講習はB授業スタイルの授業が、全4回の構成で行われます。5年後期の読解の大きなテーマが、「中学受験生の日常とは異なる環境におかれた人々の背景や心情を追うこと」でした。そのクライマックスが12月後半から冬期講習にかけてのB授業で、家でじっくりと取り組む価値のある内容です。これまでよりも「深く読む」ことができるよう、意識的に取り組んでみましょう。知識についてもBテキストを使用した読解の中で「意味が分かる言葉と、自分で使える言葉が増えた」となる学習が続けられるといいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	「コトノハ」出でてきたことばで知らなかったものは、例文とともに覚えていますか？						チェック
	解決策	上記の方法でどんどん知っている表現を増やすことで、読解力が飛躍的についてきます						□
	チェック2	Aテキストの「解法メソッド」を活用していますか？						チェック
	解決策	「解きっぱなし」にならないよう「解き方」を学びましょう						□
	チェック3	物語文で、自分と全く境遇の違う登場人物の心情を想像できていますか？						チェック
	解決策	入試レベルの物語文では必須の力です。戦時中など特殊な状況はアニメなどの活用などもいいですね						□
	チェック4	物語文を客観的に読むことができていますか？						チェック
	解決策	「自分がこう思う」だけにとらわれず、筆者、そして出題者が何を感じているか考えましょう						□
	チェック5	漢字や語句の学習について「ルーティン」が守られていますか？						チェック
	解決策	朝学習など習慣的なものは冬休み中も継続しましょう						□

SAPIX	5年							
	理科							
学習内容	32回 熱のはたらき～熱③～ 33回 天気とその変化～気象～ 34回 鏡と光～音と光③～ 冬期講習01回 磁力と電気～電気のはたらき④～ 冬期講習02回 電磁石～電気のはたらき⑤～							
家庭学習ポイント	12月中に「熱のはたらき」「天気とその変化」「鏡と光」を、冬期講習で「磁力と電気」「電磁石」を学びます。32回「熱のはたらき～熱③～」では、水の状態変化と熱量（カロリー）計算を中心に学習します。水や氷を熱していった時の状態変化をグラフから読み取る問題では、グラフの変化（形）から「何が起きているのか」の意味付けをしていく作業を学びます。グラフの形の理由（意味）を、納得できる形で理解するのがポイントです。33回「33回 天気とその変化～気象～」では、季節による代表的な気圧配置などを学びます。暗記分野ではありますが「丸覚え」ではなく、季節の変化と日本を取り巻く気圧を関連させ、物語のように理解しておくことで忘れにくく、思い出しやすい知識となります。34回「鏡と光～音と光③～」では、「鏡に映っている＝鏡の中にそっくり同じものが入っている」と考え、線対称の作図をもとに問題を解いていくのがポイントです。手を動かしてノートに作図をしましょう。冬期講習01回「磁力と電気～電気のはたらき④～」では右ねじの法則をもとに、右手を使い、電流の向き、磁力の向きを一つ一つ整理していく作業です。方位磁針の振れ角の大きさは電流の強さに左右されます。直列、並列回路の知識も必要になりますので、この点につまずきがある場合は回路図を復習しておくことが必要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	水が沸騰すると温度が100℃より上がらなくなる理由を説明できますか？						チェック
	解決策	「水を水蒸気に変えるのに熱が使われるから」という定番の記述ですね						□
	チェック2	氷がとけて水になるとき温度が0℃より上がらなくなる理由を説明できますか？						チェック
	解決策	チェック1同様「氷をとかすのに熱が使われるため」ですね						□
	チェック3	日本付近の1年間の天気の変化について、順を追って説明できますか？						チェック
	解決策	「夏＝小笠原気団が発達、冬＝シベリア気団が発達」を軸に間の季節も含めて説明してみましょう						□
	チェック4	鏡の問題では「鏡の中」を作図して考えていますか？						チェック
	解決策	鏡を対称の軸とした線対称の図形を書くのは必須と考えましょう						□
	チェック5	乾電池、豆電球のつなぎ方と回路に流れる電流の大きさを正しく理解していますか？						チェック
	解決策	今回の「電流と磁界」においても必須の知識です。あやふやな場合は復習しておきましょう						□
SAPIX	5年							
	社会							
学習内容	32回 幕末の動乱 33回 明治維新 34回 民主政治のめばえ 冬期講習01回 戦争の時代（1） 冬期講習02回 大正時代							
家庭学習ポイント	No.32「幕末の動乱」から始まります。ここで武士の時代が終わり、近代に入ります。No.33「明治維新」、No.34「民主政治のめばえ」と進みます。明治以降の近代史は、多くのお子さんにとって試練となります。立て続けに重要な出来事が起こるため、これまで以上に理解と暗記の両立が必要になります。慣れないうちは時間がかかるかもしれませんが、問題を解く前に年表をノートに整理し直した方が、全体としての学習効率は上がるでしょう。1867年（大政奉還）・1869年（版籍奉還）・1871年（廃藩置県）・1872年（学制公布・富岡製糸場）・1873年（地租改正）・1874年（民撰議院設立建白書）・1877年（西南戦争）・・・と明治末期まで毎年のように重要事項が続きます。年表にまとめて流れで理解するほうが効率的です。冬期講習のカリキュラムに「復習」はなく、平常授業の続きとして明治後期の「戦争の時代(1)」、そして「大正時代」が扱われます。覚えるべきエピソードが非常に多い時代が続きます。ある程度時間を、社会の学習に割いて対応することが必要です。また1月の組分けテストには地理分野も出題されるので、デイリーなどを見直す時間をとることを忘れないようにしましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	江戸幕府末期からの「流れ」をしっかりと理解して学習していますか？						チェック
	解決策	尊王攘夷運動～明治維新～富国強兵・文明開化といったKWに起こったことを結びつけましょう						□
	チェック2	自分で年表にまとめて学習が進められていますか？						チェック
	解決策	江戸末期～明治時代にかけては、日本史上もっとも激動の時期です。年表で流れを理解しましょう						□
	チェック3	冬休みもカリキュラムが進み続けることを織り込み済みで学習を進めていますか？						チェック
	解決策	冬休みはある程度の時間を社会の学習に割くことが望ましいでしょう						□
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？						チェック
	解決策	1月組分けには地理分野も例年出題されています。意識的に地理の後半で学習した内容の復習を						□
	チェック5	歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？						チェック
	解決策	明治時代以降こそ「因果関係で流れを掴む」学習法が効果を生み出します						□